白金小学校

こころのたね

2020年度　No.1

種をまこう　種をまこう
こころの中に　種をまこう
わたしのこころ　あなたのこころ
みんなのこころに　種をまこう
生まれたばかりのやわらかいこころに
「人権」という名の種をまこう
そして　「思いやり」という名の水と
「愛」という名の栄養を
たっぷりたっぷり　そそいであげよう
みんなの「笑顔」という名の陽をあびて
きっと　芽が出る　花が咲く
やがて　大きな幸せの実が　みのる

出典　『種をまこう』

すべての基盤に人権を

本校では、9年前から人権だより『こころのたね』を発行しています。自分も人も大切にする「こころのたね」が芽吹くといいな、という思いから名付けられました。学校生活を通して、なぜ一人ひとりの人権を大切にするのか、人権を大切にするとはどういうことか…など、人権同和学習を基盤にした取り組みを発信していきたいと思います。そして、学校・家庭・地域が手をつなぎ合って、子どもたちと関わっていきたいと思います。

感染症拡大により、年度末や新年度スタート直後、当たり前に学校に来ることが出来なくなりました。感染症についてはわからないことが多く、その不安や恐怖心が誤解や偏見をうみ、命をも脅かす差別へとつながってしまった事例もあります。今自分が持っている認識は、確かで正しい情報でしょうか。うわさやデマに流されたり、同調したりすることなく、もし自分がなったら…、家族がなったら…と、想像し考え、行動していける私たちでありたいと思います。学校でも対策を続けながら、友だちとのつながりをつくっていきたいと思います。

「つながり合い、ともに生きていこう」

～こころのたねを　まきませんか？～

「わからんねん」「助けて」って言っていいんやで

自分の力でやることは大事です。しかし、わからないことを「わからない」「教えて」と言える力は、社会に出ても必要な力です。これは、自分から学びを求めていくことにつながります。そして、人とつながる大事なキーワードです。それを安心して言える土壌は、私たち一人ひとりがつくっていくものです。

みんなで“いっしょに”いこうや

学校って楽しい！誰もがそう感じられることを願っています。もちろん遊ぶことも大切です。その「楽しい」にとどまらず、“本当の仲間”になるために、自分をふり返り、相手と話を聞き合う中で「楽しい」と感じられるのではないでしょうか。友だちの痛みやしんどさを知り、その上でつきあっていく、そんなクラスをつくっていきたいと思います。

自分も人も大切に

私たちは、誰もが「幸せに生きたい」という願いを持っています。自分だけが幸せでも、誰かだけが幸せでも、それは“みんなが幸せ”とは言えません。誰かの犠牲の上に成り立つ幸せではなく、誰もが幸せになるためにどうすればいいのか、考えていきたいと思います。

「こころのたね」を書きながら、日々の取り組みを振り返っていきたいと思います。また、続けることで積み上げていきたいと思います。

今年度も１０月に、人権・同和参観を予定しております。「人権ってむずかしい…」そう感じておられる方こそ、ぜひお越しください。また、どうしたらいいんだろう…と悩まれたり、困ったりしたときは、ぜひお声を届けてください。この白金小学校は、保護者の方と一緒に悩み、考えていく学校でありたいと思います。子どもも保護者も、安心できる学校にと願います。

「子どもを育てる」とは、家庭だけで行われるものでも、学校だけで行われるものでもありません。学校・家庭・地域が連携し、一緒に考えていくことが大切だと思います。大人も子どもも、自分をふり返り、ともに学んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。